

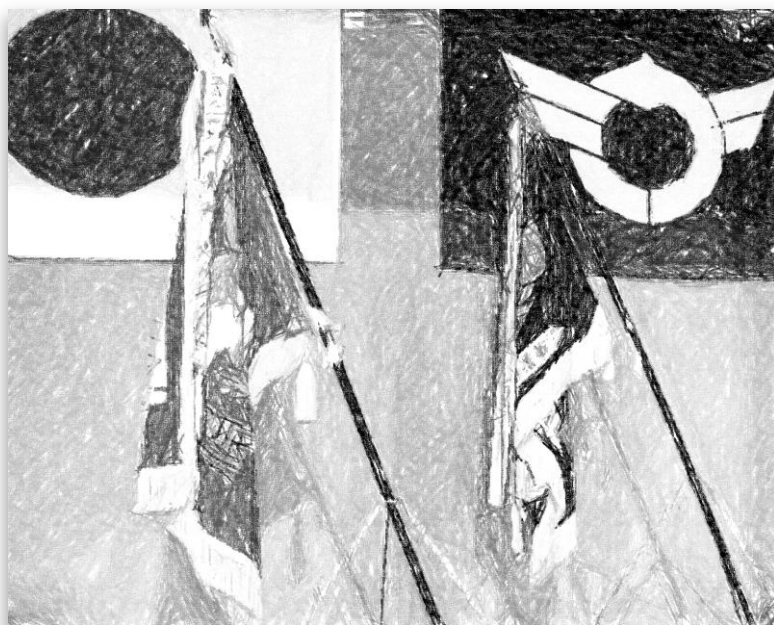
令和元年度 滋賀県高等学校春季総合体育大会

柔道競技 《プログラム》

期 日 : 令和元年5月30日(木)・5月31日(金)

場 所 : 滋賀県立武道館

参加校	男子	12校	115名
	女子	8校	32名



主 催 : 滋賀県教育委員会・滋賀県高等学校体育連盟

主 管 : 滋賀県高等学校体育連盟柔道専門部

春季体育大会 栄光の記録

団体

男子

女子

	1位	2位	3位	1位	2位	3位		
昭和27年	虎姫							
昭和28年	大津東							
昭和29年	虎姫							
昭和30年	虎姫							
昭和31年	八幡商							
昭和32年	高島							
昭和33年	伊香							
昭和34年	八日市							
昭和35年	伊香	日野	瀬田	長浜北				
昭和36年	伊香	八幡商	膳所	長浜農				
昭和37年	瀬田工	八日市	膳所	日野				
昭和38年	瀬田工	比叡山	日野	膳所				
昭和39年	長浜商工	高島	日野	膳所				
昭和40年	甲賀	大津商	伊香	草津				
昭和41年	大津商	伊香*	甲賀	瀬田工				
昭和42年	大津商	伊香	甲賀	守山				
昭和43年	伊香*	甲賀	日野	大津商				
昭和44年	日野	比叡山*	甲賀	大津商				
昭和45年	伊香*	甲賀	比叡山	大津商				
昭和46年	伊香*	膳所	比叡山	甲賀				
昭和47年	守山*	伊香	彦根東	膳所				
昭和48年	伊香*	石山	比叡山	長浜農				
昭和49年	比叡山	伊香*	虎姫	石山				
昭和50年	比叡山*	能登川	伊香	守山				
昭和51年	比叡山*	伊香	彦根東	水口				
昭和52年	比叡山*	彦根東	彦根工	伊香				
昭和53年	伊香*	比叡山	長浜商工	彦根東				
昭和54年	比叡山*	伊香*	彦根東	長浜商工				
昭和55年	比叡山*	伊香	彦根東	膳所				
昭和56年	比叡山	伊香*	彦根東	膳所				
昭和57年	比叡山*	伊香	彦根東	膳所				
昭和58年	比叡山	伊香*	彦根東	膳所				
昭和59年	比叡山	伊香	長商工	堅田				
昭和60年	比叡山	長商工	伊香	高島				
昭和61年	比叡山	伊香	長商工	膳所				
昭和62年	高島	近江	八日市	堅田				
昭和63年	比叡山	高島	膳所	近江				
平成元年	比叡山	近江	草津	高島				
平成2年	近江	比叡山	草津	石山	玉川	水口	石山	愛知
平成3年	近江	比叡山	草津	石山	草津	高島	石山	水口
平成4年	比叡山	近江	草津	高島	草津	伊香	石山	八日市
平成5年	近江	比叡山	草津	高島	比叡山	草津	石山	高島
平成6年	近江	草津	比叡山	長商工	比叡山	伊香	草津	八日市
平成7年	近江	草津	比叡山	伊香	草津	比叡山	伊香	玉川
平成8年	草津	比叡山	近江	高島	草津	伊香	比叡山	玉川
平成9年	草津	近江	比叡山	高島	比叡山	草津	伊香	近江
平成10年	近江	比叡山	草津	伊香	草津	伊香	能登川	近江
平成11年	近江	比叡山	伊香	高島	草津	比叡山	伊香	近江
平成12年	近江	草津	伊香	比叡山	草津	比叡山	伊香	近江
平成13年	草津	近江	伊香	比叡山	草津	伊香	比叡山	近江
平成14年	近江	比叡山	伊香	草津	比叡山	高島	近江	虎姫
平成15年	近江	草津	伊香	瀬田工	比叡山	草津	近江	伊香
平成16年	草津	瀬田工	近江	比叡山	草津	比叡山	近江	伊香
平成17年	近江	伊香	瀬田工	比叡山	草津	伊香	比叡山	近江
平成18年	近江	瀬田工	比叡山	伊香	伊香	草津	比叡山	近江
平成19年	近江	瀬田工	比叡山	伊香	草津	伊香	比叡山	高島
平成20年	近江	伊香	比叡山	瀬田工	草津	伊香	近江	比叡山
平成21年	伊香	近江	草津	比叡山	比叡山	草津	伊香	能登川
平成22年	近江	比叡山	草津	伊香	近江	比叡山	草津	伊香
平成23年	近江	比叡山	伊香	瀬田工	近江	草津	伊香	比叡山
平成24年	比叡山	近江	伊香	瀬田工	近江	草津	能登川	比叡山
平成25年	近江	比叡山	伊香	瀬田工	近江	伊香	比叡山	草津
平成26年	近江	比叡山	伊香	瀬田工	近江	伊香	比叡山	
平成27年	比叡山	近江	伊香	瀬田工	比叡山	伊香	近江	膳所
平成28年	比叡山	近江	伊香	瀬田工	比叡山	近江	伊香	
平成29年	比叡山	近江	伊香	瀬田工	比叡山	近江	伊香	膳所
平成30年	比叡山	近江	伊香	瀬田工	比叡山	伊香	綾羽	膳所
令和元年								



春季体育大会 栄光の記録

個人

	軽量級	中量級	軽重量級	重量級										
昭和39年	武友(伊)													
昭和40年	畑野(伊)		米澤(長商工)											吉田(伊賀)
昭和41年	市川(高)		桑原(高)											奥本(大商)
昭和42年	西野(伊)		宮部(大商)											奥本(大商)
昭和43年	大澤(伊)		青山(日)											桐畑(伊)
昭和44年	織田(伊)		青山(日)											亀田(比)
昭和45年	脇坂(八日)		飯島(比)											植村(膳)
昭和46年	脇坂(八日)		川勝(瀬)											藤本(伊)
昭和47年	久澤(伊)		奥野(膳)											藤戸(比)
昭和48年	寺岡(彦工)		米澤(伊)											橋爪(守)
昭和49年	三輪(伊)		島本(石山)											伊藤(比)
昭和50年	赤井(比)		岩本(虎)											伊藤(比)
昭和51年	深美(伊)		遠藤(比)											望月(水)
昭和52年	笹木(伊)		遠藤(比)											駒井(比)
昭和53年	足達(比)		遠藤(比)		広瀬(彦東)		松山(湖工)							軽重量級新設
昭和54年	足達(比)		河原田(比)		広瀬(彦東)		福井(比)							
昭和55年	寺井(膳)		坂下(膳)		北浦(比)		向川(比)							
昭和56年	伊藤(比)		坂下(比)		宇田(伊)		今藤(比)							
昭和57年	尾田(比)		坂下(比)		杉山(比)		白井(比)							
昭和58年	内田(比)		尾田(比)		小倉(比)		今藤(比)							女子
昭和59年	内田(比)		大橋(伊)		西村(比)		内貴(比)							須戸(膳)
昭和60年	北野(比)		吉田(比)		西村(比)		内貴(比)							須戸(膳)
昭和61年	西堀(比)		山田(比)		武田(比)		小野(比)							中嶋(比)
昭和62年	堀井(膳)		西堀(比)		古川(高)		曾我(彦東)							足田(彦東)
昭和63年	軽量級	軽中量級	中量級	軽重量級	重量級	女子								
平成 元年	青木(比)	小林(八)	小椎尾(比)	生駒(近)	米田(近)	坂田(玉)								
平成 2年	青木(比)	宮部(近)	小椎尾(比)	生駒(近)	天川(比)	桐畑(五)								
平成 3年	三久保(比)	山村(石)	宮部(近)	磯部(近)	林(草)	桐畑(五)								
平成 3年	軽量級	軽中量級	中量級	軽重量級	重量級	-52kg級	-66kg級	無差別級						
平成 4年	遠藤(比)	奥村(近)	高山(比)	林(草)	福沢(草)	青木(比)	吉川(八)	矢野(伊)						
平成 5年	遠藤(比)	芳森大(近)	芳森信(近)	浜崎(比)	福沢(草)	青木(比)	坂下(草)	矢野(伊)						
平成 6年	磯部(八)	芳森大(近)	門田(比)	大坪(草)	山田(近)	岩田(比)	杉江(比)	吉田(比)						
平成 7年	米澤(虎)	杉江(近)	南平(比)	大坪(草)	山田(近)	高橋(草)	吉田麻(比)	吉田千(比)						
平成 8年	柳山(長)	村居(近)	米澤(近)	宮島(草)	大坪(草)	藤木(比)	高橋(草)	吉田(比)						
平成 9年	田中(近)	米澤(近)	芳森(近)	西川(近)	上野(近)	藤木(比)	清水(比)	今村(草)						
平成 10年	真下(長)	米富(比)	芳森(近)	吉田(比)	宮島(草)	際田(草)	村路(近)	酒井(伊)						
平成 10年	-60kg級	-66kg級	-73kg級	-81kg級	-90kg級	-100kg級	+100kg級	-52kg級	-66kg級	無差別級				
平成 10年	米富(比)	森川(近)	中原(伊)	米澤(伊)	古株(草)	堀(近)	中嶋(草)	山本(八)	磯谷(草)	宇野(草)				
平成 11年	-60kg級	-66kg級	-73kg級	-81kg級	-90kg級	-100kg級	+100kg級	-48kg級	-52kg級	-57kg級	-63kg級	-70kg級	-78kg級	+78kg級
平成 11年	米富(比)	三上(比)	村川(近)	須田(近)	山中(近)	山田(近)	平田(比)	大伴(草)	際田(草)	山中(草)	下城(能)	平瀬(草)	鳥居(草)	吉田(伊)
平成 12年	米富(比)	村西(近)	梅本(近)	村居(近)	大坪(草)	伊藤(近)	松原(近)	大伴(草)	甲斐(八工)	米富(比)	阿久根(草)	平瀬(草)	鳥居(草)	馬籠(草)
平成 13年	河端(比)	藤井(伊)	田中(近)	藤川(比)	大坪(草)	岡田(草)	森本(近)	大崎(比)	米富(比)	梶村(比)	大迫(近)	平瀬(草)	鳥居(草)	馬籠(草)
平成 14年	松尾(草)	河端(比)	尾崎(比)	藤川(比)	高橋(近)	河井(草)	藤原(伊)	大崎(比)	米富(比)	藤川(比)	梅本(比)	久澤(高)	門脇(草)	岸(近)
平成 15年	高橋(近)	浜口(草)	山中(近)	下川(伊)	高橋(近)	鈴木(近)	中西(草)	石田(比)	大崎(比)	車谷(比)	藤川(比)	該当者なし	門脇(草)	甲斐(草)
平成 16年	飯島(比)	高橋(近)	世古(比)	下川(伊)	村野(草)	谷下(草)	奥村(瀬)	村岸(河)	浅香(草)	藤川(比)	車谷(比)	佐々木(草)	門脇(草)	甲斐(草)
平成 17年	岡田(草)	向江村(近)	山本(瀬)	世古(比)	松宮(比)	中田(近)	谷下(草)	広川(草)	井上(瀬)	高谷(近)	香月(草)	坂井(伊)	坂下(水東)	甲斐(草)
平成 18年	岡崎(近)	中島(近)	川越(伊)	世古(比)	竹腰(伊)	谷村(瀬)	山田(近)	井上(瀬)	広川(草)	原添(草)	澤村(草)	坂井(伊)	坂下(水東)	大菅(草)
平成 19年	小森(瀬)	木村(近)	吉川(近)	児玉(近)	中島(近)	伊勢村(比)	山下(近)	西澤(草)	田口(伊)	田中(比)	坂井(伊)	宇野(比)	森田(草)	大菅(草)
平成 20年	伊吹(比)	加藤(近)	木村(近)	三家(近)	丸田(近)	吉川(近)	脇阪(伊)	遠藤(比)	田口(伊)	田中(比)	澤井(草)	堀(近)	大菅(草)	小川(草)
平成 21年	平井(草)	深美(伊)	奥田(近)	藤本(近)	日比野(比)	齊藤(比)	脇阪(伊)	遠藤(比)	中西(比)	田中(比)	垣谷(近)	福島(近)	坂下(水東)	近藤(伊)
平成 22年	平良(比)	深美(伊)	木村(近)	藤本(近)	安田(近)	齊藤(比)	竹村(近)	遠藤(比)	岡本(伊)	横井(伊)	川越(伊)	福島(近)	坂下(水東)	小島(草)
平成 23年	中原(比)	樺木(比)	和氣(比)	北浦(比)	吉川(近)	奥村(比)	浅野(近)	森下(伊)	岡本(伊)	峰本(近)	川越(伊)	福島(近)	岩本(草)	小島(草)
平成 24年	野村(近)	村田(近)	松谷(瀬)	北浦(比)	橋本(近)	花木(近)	浅野(近)	安本(比)	神戸(近)	千代(近)	勝見(近)	山岡(近)	志賀(近)	小島(草)
平成 25年	中原(比)	田中(瀬)	村田(近)	北村(近)	高橋(近)	横井(近)	浅野(近)	千代(近)	佐野(比)	苗村(近)	中島(伊)	伊藤(近)	清水(伊)	古賀(近)
平成 26年	杉本(比)	脇本(比)	橋本(近)	北村(近)	北村(近)	長田(綾)	千代(近)	西口(比)	福崎(比)	伊藤(比)	森田(近)	清水(伊)	古賀(近)	
平成 27年	杉本(比)	田中(比)	朝比奈(近)	大村(比)	赤坂(近)	岡本(近)	横田(近)	田尾(近)	瀧川(比)	苗村(近)	伊藤(比)	森田(近)	清水(伊)	石田(伊)
平成 28年	福田(比)	水戸(比)	朝比奈(近)	毛利(比)	岡本(近)	山本(比)	北川(比)	芳田(比)	瀧川(比)	西口(比)	伊藤(比)	栗師山(比)	杉野(比)	沢田(伊)
平成 29年	福田(比)	水戸(比)	永谷(比)	毛利(比)	西岡(比)	山本(比)	牧本(近)	芳田(比)	瀧川(比)	生駒(近)	足達(比)	栗師山(比)	杉野(比)	吉山(比)
平成 30年	福田(比)	松川(比)	本田(比)	日野山(比)	西本(近)	大城(比)	藤田(比)	芳田(比)	足立(比)	川上(比)	足達(比)	栗師山(比)	木内(綾)	吉山(比)
令和元年														



令和元年(2019年)柔道専門部競技役員

専門部長	山田 薫 (伊香高校 校長)			
顧問	平瀬 憲昌 (草津)	大橋 成年 (伊香)		
競技委員長	小林 重和 (能登川)			
同副委員長	三谷 忠義 (高島)	大橋 成年 (伊香)		
総務委員長	今井 達将 (綾羽)			
総務部 進行	今井 達将 (綾羽)			
記録	伴 禎 (高島)	山根 良行 (兄弟社)	古田 純一 (伊香)	
式典	渡邊 澄子 (比叡山)	坂下 和子 (甲南高養)		
広報	井谷 利之 (綾羽)			
審判長	平瀬 憲昌 (草津)			
副審判長	坂下 覚 (膳所)			
審判部 第1会場主任	坂下 覚 (膳所)			
第2会場主任	生駒 有史 (近江)			
審判員	南 睦志 (瀬田工)	上田 健二 (伊香)	大橋 成年 (伊香)	
	三谷 忠義 (高島)	小林 重和 (能登川)	林 正樹 (兄弟社)	
	小松 広典 (綾羽)	米富 和郎 (比叡山)	向江村和也 (近江)	
	坂下 星満 (能登川)	坂下 福満 (安曇川)	脇阪 博也 (伊香)	
	林 弘典 (びわこ成蹊大)	中体連審判員		
会場係長	川那辺敬司 (比叡山)			
会場係 第1会場	◎川那辺敬司 (比叡山)	藤井 恒太 (綾羽)	藤井 知 (兄弟社)	
第2会場	◎横山 佳代 (瀬田工)	井谷 利之 (綾羽)		
救護係 救護係	滋賀県柔道整復師会			
計量係 男子	生駒 有史 (近江)	米富 和郎 (比叡山)	脇阪 博也 (伊香)	
女子	坂下 星満 (能登川)	坂下 福満 (安曇川)	渡邊 澄子 (比叡山)	

令和元(2019)年度 滋賀県高等学校春季体育大会 柔道競技 実施要項

- ◆会場 滋賀県立武道館（大津市におの浜四丁目2-15） TEL077-521-8311
- ◆開催日 2019年 5月30日(木)～ 5月31日(金)
- ◆試合
1. 男女団体の部
 2. 男子個人の部 7階級
(60kg級、66kg級、73kg級、81kg級、90kg級、100kg級、100kg超級)
女子個人の部 7階級
(48kg級、52kg級、57kg級、63kg級、70kg級、78kg級、78kg超級)
- ◆日程
- 1日目
- | | | | | |
|-----------|-------|---|-------|----------|
| 予備計量 | | ～ | 9:00 | |
| 本計量 | 9:00 | ～ | 9:30 | *計量は1回のみ |
| 全体会議、役員会議 | 9:45 | ～ | 10:20 | |
| 開会式 | 10:20 | ～ | | |
| 男女団体戦 | | | | |
- 2日目
- | | | | | |
|-----------|------|---|------|----------|
| 予備計量 | | ～ | 9:00 | |
| 本計量 | 9:00 | ～ | 9:30 | *計量は1回のみ |
| 全体会議、役員会議 | 9:30 | ～ | 9:50 | |
| 開始式 | 9:50 | ～ | | |
| 男女個人戦 | | | | |
- ◆試合規定
1. 国際柔道連盟試合審判規定によっておこなう。(2018～)新規定
 2. 試合時間は団体・個人試合とも、準決勝戦から4分、それまでは3分とする。
団体試合
 - ①試合の勝敗判定基準は「技有」「僅差」以上とする。
*僅差:「指導差が2」とする。
*一本勝ち=反則勝ち > 技あり > 僅差
 - ②チームの勝敗については要覧の別ページに定める。
 - ③同点、同内容の場合代表戦を行う。大将戦終了3分後におこなう。
 - ④団体試合決勝トーナメントの代表戦は、時間無制限のゴールデンスコアをおこなう。個人試合
 - ①試合の勝敗判定基準は「技有」「僅差」以上とする。
*僅差:「指導差が2」とする。
*一本勝ち=反則勝ち > 技あり > 僅差
 - ②試合終了時点で「技のスコア」が同等な場合、時間無制限のゴールデンスコアをおこなう。
 - ③累積による「同時反則負け等」の場合のみ、時間無制限のゴールデンスコアによって勝者を決定する。
- ◆試合方法
- 〈団体試合〉
1. 男女ともトーナメント戦によって優勝を決定するものとする。
 2. 試合は1校1チームの男子は5名、女子は3名の点取り試合とする。
試合ごとのオーダー変更は認めない。
 3. 男女ともオーダーはフリーとする。
- 〈個人試合〉
1. 男女とも7階級とする。
 2. トーナメント戦によって優勝を決定するものとする。
 3. ただし、3人の場合、リーグ戦をおこなう。
*試合順は、①1-2. ②2-3. ③1-3とする。シード順より抽選をおこなう。
- ◆参加資格
1. 滋賀県高等学校体育連盟柔道専門部に加盟している高等学校生徒であること。
また、平成13年4月2日以降に生まれた者とする。
 2. 転校後、6ヶ月未満の者は参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる)
但し、一家転住等やむを得ない場合、各都道府県高等学校体育連盟会長の許可があれば、
これの限りではない。
 3. 同一学年での出場は1回限りとする。
 4. 出場選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を受けた者であること。
- ◆選手変更
1. 大会1日目の午前 9時までに大会本部まで申し出ること。
 2. 団体戦の選手変更は、男女とも1名を限度とする。
変更して登録を抹消された選手は個人戦に出場できない。
 3. 個人試合での選手変更は認めない。
- ◆計量
1. 男子は上半身は裸、-halfパンツ着用とする。(柔道着の下穿きは着用不可)
 2. 女子はTシャツ、ショートパンツとする。(国際ルールに準じた服装とする)

- ◆表 彰
 1. 団体競技 男女各チーム1位から3位までの入賞チームを表彰する。
 2. 個人競技 男女各階級の1位から3位までの入賞者を表彰する。
- ◆出 場 権 (付記)
 1. 男女団体各優勝チーム、男女個人各階級優勝者の選手には全国高校総体の出場権を与える。
 2. 男女個人各階級上位入賞選手には国体候補選手とする。

5月14日(火)の顧問会議開始10時までとする。
 5月9日(木)までにE-mailで申込を済ませておくこと
 E-mail kobayashi-shigekazu-4900@pref-shiga.ed.jp

- ◆申込締切
- ◆そ の 他
 - <会場準備>瀬田工、高島、能登川、草津、膳所高校でお願いします。
 - <後始末>全校、全生徒でおこないます。
 - ・会場は大切に使用し、ゴミ・破損等のないように心がけてください。
 - ・貴重品の管理は、各校、各自でしっかりしてください。

国際柔道連盟試合審判規定(2018～)【全柔連が定めた団体試合の勝敗決定方法】

個人の勝敗の決定

- 1 ① 個々の試合において「僅差」を残し、内容を「一本」>「技あり」>「僅差」
- ② 個人試合と団体試合代表戦において、「僅差」とは、技のスコアが同等の場合、GS時のみに「指導」の差が1以上あった場合、僅差による優勢勝ちとする。
- ③ 団体試合と個人試合において「僅差」とは、技のスコアが同等の場合、「指導」の差が2以上あった場合、僅差による優勢勝ちとする。
- ④ 個人試合と団体試合代表戦において、指導の累積による両者反則負けになった場合、スコアをリセットして、GSの延長戦で勝敗を決する。
- * 延長戦において、指導の累積による両者反則負けになった場合、スコアをリセットして、GSの延長戦で勝敗を決する。

チームの勝敗の決定

- 1 勝ち数の多いチームを勝ちとする
- 2 同等の場合、次のようにする
 - ① 「一本による勝ち」が多いチームを勝ちとする。
 - ② ①が同等の場合「技ありによる勝ち」が多いチームを勝ちとする。
 - ③ ②が同等の場合「僅差による勝ち」が多いチームを勝ちとする。
 - ④ ③が同等の場合代表戦をおこなう。
- 3 代表戦は、任意もしくは、「引き分け」の選手から抽選で1組を選び、時間無制限によるGS方式によって勝敗を決する。
 ただし、予選を兼ねている大会の場合、本戦のルールに準ずる。
 先に「技有り」以上のスコアを得た選手が勝ちとなり、「指導1」を与えられた選手が負けとなる。

リーグ戦勝敗の決定

- 1 勝ち数の多いチームを勝ちとする
- 2 同等の場合、次のようにする
 - ① 「一本による勝ち」が多いチームを勝ちとする。
 - ② ①が同等の場合「技ありによる勝ち」が多いチームを勝ちとする。
 - ③ ②が同等の場合「僅差による勝ち」が多いチームを勝ちとする。
- 3 1、2の①②③が同等の場合、引分けの数の多いチームとする。
- 4 1、2の①②③、3が同等の場合、負け数の少ないチームとする。
- 5 1、2の①②③、3、4が同等の場合、直接対戦で勝ったチームとする。
- 6 1、2の①②③、3、4、同等で、5でも引分けであった場合、代表選をおこなう。
- 7 代表戦は、任意もしくは、「引き分け」の選手から抽選で1組を選び、時間無制限によるGS方式によって勝敗を決する。
 ただし、予選を兼ねている大会の場合、本戦のルールに準ずる。
 先に「技有り」以上のスコアを得た選手が勝ちとなり、「指導1」を与えられた選手が負けとなる。

【例】

①	高 校	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	勝ち数
	A	○1本	△	×	○指導2	△	2
	B	△	○技有	×	△	○技有	2

*「一本勝ち」が多いA高校の勝ち

②	高 校	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	勝ち数
	A	○技有	×	△	○僅差	△	2
	B	△	×	○僅差	△	○僅差	2

*「技有勝ち」が多いA高校の勝ち

③	高 校	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	勝ち数
	A	○1本	△	△	×	○僅差	2
	B	△	○反則勝	○技有	×	△	2

*「一本勝ち」が同数、技有>僅差なのでB高校の勝ち

タイムテーブル

	第1試合場	第2試合場	備 考	
1 日 目	受 付： 9：30 予備計量： ~ 9：00 本 計 量： 9：00 ~ 9：30 開 会 式： 10：20		* 本計量は1回のみ 試合時間：4分 試合時間：4分 M I N D 講 演 男子団体戦 試合時間：3分 試合時間：3分 試合時間：4分 試合時間：4分 男女団体試合表彰式・閉会式	
	女子団体戦			
	女子準決勝①			女子準決勝②
	女子決勝			
	M I N D 講 演			
	男子団体戦			
	男子1回戦(1試合)			
	男子2回戦(4試合)			
	男子準決勝①			男子準決勝②
	男子決勝			
	男女団体試合表彰式・閉会式			
	2 日 目	受 付： 9：30 予備計量： ~ 9：00 本 計 量： 9：00 ~ 9：30 開 始 式： 9：50		* 本計量は1回のみ 試合時間：準々まで3分 準決・リーグ戦は4分 試合時間：4分 試合時間：3分 試合時間：4分 試合時間：4分 (数字)は試合数
女子個人戦 ~準決勝				
48kg・63kg・78kg		57kg・70kg		
女子個人決勝(4)				
52kg・57kg・63kg・70kg				
男子個人戦 1回戦~準々決勝				
60kg・73kg・100kg・100kg超		66kg・81kg・90kg		
男子個人準決勝(14)				
60・66・73・81・90・100・100超 各階級①		60・66・73・81・90・100・100超 各階級②		
男子個人決勝(7)				
60・66・73・81・90・100・100超				
男女個人試合表彰式・閉会式				

* 競技の進行上、試合場を変更することがあります。

* 昼食休憩は両日とも12：00をメドに30分程度とる予定です。放送等で指示します。

* 団体個人とも3位決定戦は行いません。

* 試合進行については、審判部と総務部で協議の上、当日変更する場合があります。

大会参加者に望む

1. 滋賀県高等学校柔道大会は、学校における教育活動の一貫として行われるもので、単に勝敗のみを争うものではない。このことは大会に対する滋賀県高体連柔道部創立以来の一貫した姿勢で、たえずこの具体化を検討し、望ましい大会のあり方を追求して今日に至っている。大会参加の諸君は、滋賀県高体連柔道部のこの基本姿勢を理解されるとともに、下記の事項に留意し、高校生にふさわしい理想の大会の実現に協力を願う。
 - (1) 大会を開催する地元のご苦勞に感謝し、会場を汚したり破損したりすることのないよう注意してもらいたい。
 - (2) 会場までの列車内でも街頭でも高校生として、また柔道選手としての誇りを忘れないでほしい。
 - (3) 勝負を決するための積極的な試合展開をしてほしい。勝負を決しようとしなない試合は、その意義を失い、技術の進歩もあり得ない。真摯敢闘、自己の最善を尽くしてこそ観衆に感動を与え、選手自身にとっても無上の満足感を与えるものである。
 - (4) 柔道着は、出場前に十分点検し、規定にふれることのないようにしておくこと。また、髭、頭髪などは、不快な感じや異様な感じを与えないように注意すること。

監督に望む

- (1) 大会会場ばかりでなく、会場までの途上にわたって選手を監督・指導されたい。なお、応援の保護者、関係者に対してもすべての責任を負う。
- (2) 選手に対する指導・助言は節度あるものとし、試合の前後に選手に対する指導・助言は十分に行い、試合中は選手の意思を尊重するようにされたい。
- (3) 大将戦においては、控え選手を全員、正座させるように指導されたい。
- (4) なお、大会中の服装は審判員の服装に準ずることが望ましい。

応援者に望む

- (1) 応援は選手の志気を高めるものであるが、審判員の適正な判断と大会運営の妨げにならないように節度あるものにしていただきたい。
- (2) 審判員や選手に対する暴言や品位を傷つけるような言動は絶対にしないでいただきたい。
- (3) 大会本部席前での応援は、大会運営上の支障になるので、指示された場所とする。

県立武道館 使用上の注意

- 1 会場準備に当たっている学校は9時に集合して下さい。
- 2 後始末は全員で行います。
- 3 靴は各自ビニール袋に入れて更衣場所へ持っていくこと。
- 4 傘は玄関に間違わないように置いておくこと。会場内に持ち込まない。
- 5 館内においては高校生は武道館のスリッパを使用しない。
- 6 更衣は男子は団体リーグ戦の会場のギャラリーで、女子は指定の更衣室で行うこと。
- 7 使用場所は柔道エリアに限る。他会場やロビーなどに行かない。
- 8 貴重品は各校で責任を持って保管すること。万一紛失しても専門部では責任をとらない。
- 9 各校で出したゴミは、各校・各自で責任を持って持ち帰ること。
- 10 会場へ入場は団体戦は出場校のみ、個人戦においては次に出場予定の5名までとする。その他の選手はギャラリーで観戦すること。会場が狭いので、試合がスムーズに運べるように、特にこの点を守るようお願いしたい。
- 11 本部席前(正面)は通ったり、座ったりしないようにする。
- 12 便所の下駄は次に使う人のことを考えて、きちんとそろえておくこと。
- 13 その他分からない点が生じたら、顧問の先生か、大会本部まで申し出ること。

◎武道館を美しく、大切に使うために、以上のことをしっかり守って下さい。

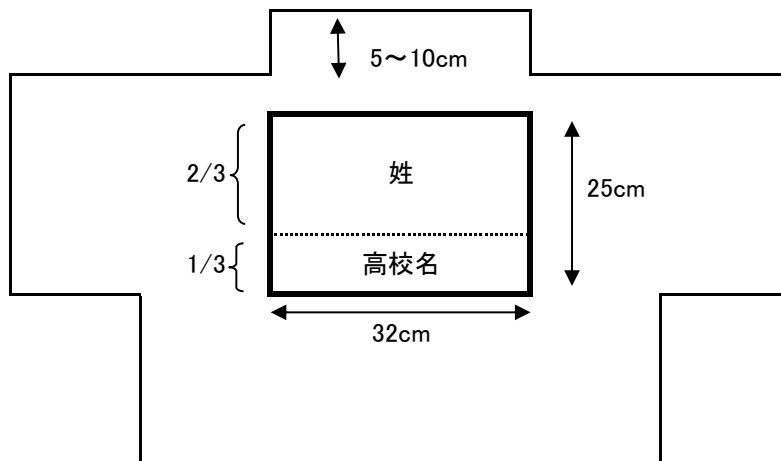
高校柔道大会の服装について

柔道着

- 1 全日本柔道連盟試合服装規定・国際柔道連盟服装規定が定める柔道着であること。
- 2 全柔連規格 IJF(国際柔道連盟)公認モデルの認証番号があるものとする。
例: JU0028、JU0052、IJF公認マークなど
* 柔道着とは上衣、ズボン、帯の3つである。
- 3 帯の刺繍について
国内試合の場合
 - ①帯の一方に「個人名」もう一方に「学校名」「贈〇〇」等の表現は表示してもよい。
 - ②帯中央への表示は表裏にかかわらず、いかなる文字も許可されない。
 - ③信条や四字成句などの表現は不可である。「闘魂」×「獅子奮迅」×
 - ④女子は白線入りの帯を使用すること。
* 国際試合では、一方にしか表示できない。名前のみである。

ゼッケン

- 1 大会に出場する選手は、必ず規定の要項にしたがってゼッケンを柔道衣の背中に縫いつけてなければならない
- 2 布地は晒太綾(さらしふとあや)を使用すること。
- 3 サイズは横32cm、縦25cmとする。
- 4 姓は上側2/3、校名は下側1/3の部分に、横書きで男子は黒字、女子は赤字で書くこと。
- 5 縫いつけ方法については下記の図を参照すること。※強い糸で縫いつけること。
- 6 ただし、当分の間は従来のものでよい。



女子 試合者は上衣の下に、相当の長さのあるものを着用すること。

- 1 Tシャツ(女子用)
 - 製造業者マークは、最大20cmのサイズであれば認められる。
柔道着を着用した際に、製造業者マークが見えてはならない。
 - 正式な国家、NOC、もしくはIJF加盟連盟のエンブレムを左胸に固定してつけること認められる。
 - いかなる商業的なマーキングもつけてはならない。
- 2 アンダーパンツは膝までの丈であること

男子

アンダーパンツは膝までの丈であること

ゼッケンのない選手は、試合に出場できない。

JUDO MIND

柔道を通して動じない正義感を持つ人へ

いつも、どこでも、どんな時も、
『絶対的な正義感』を持つことである。

「絶対的な正義感」とはなんだ。
弱い立場の人、困っている人、正しいことをしている人
を助けることである。
間違っていることに立ち向かうことである。

たとえ、
みんなの前でも、嫌いな人のことであっても、教室でも、
畳の上でも、ほんの小さなことでも、多くの人を敵にまわ
しても、「絶対的な正義」を貫ぬく態度を示すことである。

「絶対的な正義感」をもつには。
痛みのわかる感性を持つこと、
常に痛みのわかる感性を研ぐことにつきる。

「どんな時にも動じない強い人間になれる」

高校生に贈る言葉 滋賀県高体連柔道専門部